

日本酒「悠久の大井川」売上金の一部を寄付

◎環境課 ☎36・7145

5月31日、日本酒「悠久の大井川」の売上金の一部が、販売元のカネキチ(株)伊藤慎之助代表取締役社長と製造元(株)大村屋酒造場松永孝廣代表取締役社長から、市に寄付されました。

市のシンボルでもある大井川の環境保全のために、1本の売り上げにつき100円として、11万2300円を寄付しました。平成21年から続くこの寄付は、今年で13回目。寄付金は、大井川の水質調査などの費用に充てられる予定です。



目録を手渡す伊藤社長(左から2番目)と松永社長(右)

土砂災害を想定した情報伝達訓練や避難訓練を実施

◎危機管理課 ☎36・7143

6月6日、市は川根町家山で、土砂災害に対する防災訓練を実施しました。訓練には、西向地区の住民約40人が参加。崖くずれや地すべり、土石流の危険性を確認後、情報伝達訓練や要配慮者の避難支援を含めた避難訓練などを行い、土砂災害に対する認識を深めました。

訓練に合わせ、市ドローン隊も情報収集訓練を実施。同地区で想定される被害箇所を空中から撮影するなど、機体の操作方法や隊員同士の連携を確認しました。



安全を確認しドローンを離陸させる隊員

島田ロータリークラブが車いすを寄贈

◎病院総務課 ☎35・2111

島田ロータリークラブは6月11日、島田市立総合医療センターに車いす35台を寄贈しました。

院内で開かれた贈呈式では、同クラブの萩原寛一会長から青山武病院事業管理者に、目録が手渡されました。萩原会長はあいさつで「自身の入院経験から、患者にとつて車いすが安全な移動に必要な不可欠なものだと実感。新しい車いすで、快適に過ごしてもらえればうれしい」と笑顔で話しました。



車いすと記念撮影をする萩原会長ら(左から2番目)

島田榛北地区労働者福祉協議会がランドセルを寄贈

◎文化資源活用課 ☎36・7214

6月1日、島田榛北地区労働者福祉協議会が市役所本庁舎を訪れ、ランドセル64個を市に届けました。

同協議会の鈴木勝人会長は「所属団体に呼び掛けて集めた、大切な思い出が詰まったランドセル。現地の子どもたちにも、喜んでもらえたらうれしい」と話しました。

3月から5月までに寄贈されたランドセルは、計370個。モンゴル国ウランバートル市バヤンゴル区を通じて、必要とする子どもたちに手渡されます。



ランドセルを市職員に手渡す鈴木会長(中央)